

# 2021年度事業計画

(2021年4月1日～2022年3月31日)

特定非営利活動法人こども遊学館市民ステージ

## 【特定非営利活動に係る事業】

釧路市から委託される遊学館事業を中心として、こども遊学館がたくさんの市民が活躍する施設となるよう自主事業も同時に展開します。

### 1. こども遊学館(委託事業) 【指定管理 第4期 5年目】

平成29(2017)年度より5年間、指定管理者として釧路市こども遊学館の管理運営業務を受託し、事業運営に相当する業務を行っている。5カ年の最終年度として、2021年度釧路市こども遊学館事業計画(案)を次の通り提案する。

なお、平成28年度総会(平成28年5月29日開催)にて報告した[10年目標]ならびに[3つの基本方針]による[新指定管理期間の重点項目]に基づいている。

### 【10年目標】2027年の「こども遊学館」に向かって

くしろの豊かな自然と文化を愛し、「むかし」を知り、「いま」を感じ、「みらい」を創る、元気で明るい心豊かな子どもたちを育みます。そのために、地域の力を結集する拠点となるよう、新しいことにチャレンジし続けます。

### 【3つの基本方針】10年目標を達成するための行動指針

1. 「みる・ふれる・かんがえる」を通して、人生を豊かにする遊びと学びの体験を提供します。
2. 安全・安心で夢中になって楽しく遊び、学べる、「楽しかった、また来たい」と思える子どもたちの居場所を提供します。
3. 多様な一人ひとりが生き生きと活躍し、つながりあえる機会を提供します。

### 【新指定管理期間の重点項目】

- ・本物体験など五感を通じた体験の拡充を図ります。
- ・平日の利用拡大を図る事業を展開します。
- ・既存の事業内容にとらわれず、新たなことに挑戦します。
- ・繰り返しの来館につながる連続した事業展開を企画します。
- ・職員のさらなるスキルアップに取り組みます

## 2021年度 釧路市こども遊学館事業計画

釧路市こども遊学館の指定管理者である「釧路市こども遊学館指定管理者業務 釧路市民文化振興財団、NPO法人こども遊学館市民ステージ コンソーシアム」の構成団体として、遊学館事業を次のとおり実施します。遊びと学びの場をとおして、豊かな心を育む遊びと、好奇心や探究心を醸成する学びを提供し、次代を担う子どもたちの成長を応援します。

併せて、遊学館をステージに多くの市民が活躍できるよう、柔軟なコーディネートを行い多様な市民参加を引き出します。また、地域の団体および教育機関、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、国立天文台等との連携事業も継続して推進します。

また、昨年からの新型コロナウイルス感染による北海道の「新北海道スタイル」安心宣言およびガイドラインに基づき、感染予防対策を講じています。

2021年度は、感染予防対策の徹底とこれまで蓄積してきたリソース(資源)を活用しながら、変化する社会情勢や来館者ニーズを反映させることで、常に新しさと驚きのある事業展開と、将来につながる持続可能な事業運営の在り方を探っていきます。

事業区分		各事業区分の考え方	
1	特別事業	<p>話題性のある企画を連続休暇や季節に合わせて開催し、遊学館を広くアピールするとともに、市民に親しんでもらうことを目的とした、比較的大型の事業活動。</p> <p>日常では、なかなか経験できない遊びの体験や知識を深めるきっかけ作りの場とし、館全体を利用した大掛かりな活動の展開や企画展示を実施します。</p>	
	実施予定事業	ゴールデンウィークイベント 年 1 回	「木のおもちゃ」を展示するなど、幅広い世代が一緒に楽しめるイベントを実施します。
		宇宙月間 年 1 回	宇宙の日を中心とする宇宙月間（9 月）に、宇宙に親しむ一連のイベントを実施します。
		遊びんピック 年 1 回	伝承遊びやゲームを盛り込んだ、こどもたちが主体的に参加できるイベントを実施します。
		サイエンス屋台村 年 1 回	「青少年のための科学の祭典釧路大会」を核とした、科学実験・工作ブースおよびサイエンスショーなどのイベントを実施します。
		クリスマス月間 年 1 回	クリスマスツリーやイルミネーションの点灯をはじめとしたクリスマスを楽しむイベントを実施します。
		とり+かえっこ 年 1 回	お仕事体験やワークショップなどのさまざまな体験活動を交えた、おもちゃ交換イベントを実施します。

事業区分		各事業区分の考え方	
2	通常事業	<p>遊学館の機能を十分に活用して、利用者が満足できる内容を日常的に提供する事業活動。</p> <p>「いつ来ても新しい出会いがある遊学館」を実現するために、いつでも参加可能なプログラムを整備し、科学展示や遊具を大いに活用した体験活動を提供します。また、幅広い年齢層の利用者が満足できるよう内容づくりに配慮し、世代を越えた交流の場ともなるよう広い活動を目指します。</p>	
	実施予定事業	体験展示運営 毎日	館内の展示物や遊具・絵本などの書籍、屋内砂場などを活用し、様々な遊びと学びの体験を提供します。
		伝承遊び 毎日	けん玉・こま・折り紙などの昔遊びやごっこ遊びなどをし、定期的にこどもたちに昔遊びを伝承します。
		工作遊び 毎日	毎日時間を設定し、簡単な紙工作やリサイクル工作などを行います。
		科学工作会 毎日	だれもが気軽に参加でき、身近な材料で取り組むことができる科学工作会を行います。
		プラネタリウム通常投影 毎日	プラネタリウムでの番組投影、および最新の天文トピックスや日々の天文現象の説明、季節の星空解説を行います。
		サイエンスショー 毎週	市民が科学に興味を持てるように、さまざまな科学実験を分かりやすく楽しいショー形式で行ないます。

事業区分		各事業区分の考え方	
3	定期的事業	<p>定期的に一定の形式で開催し、遊学館の定番事業として市民に定着することを目的とした事業活動。</p> <p>「遊び」や「学び」に関する特定のプログラムを定期的に企画実施することで、市民の間に遊学館の存在が定着するよう努め、遊学館の固定ファンやリピーターの確保に努めます。</p> <p>豊かな感性と想像力および知的好奇心を高め、科学する心を育むための工夫を行います。</p>	
	実施予定事業	工作教室 年 10 回程度	対象や分野を幅広く設定し、さまざまな道具を利用した工作や、多彩で豊富な素材を使った造形・科学工作活動を指導します。
		サイエンステーブル 年 12 回程度	展示室を活用したどなたでも気軽に科学技術に触れられる科学体験を提供します。
		実験教室 年 4 回程度	展示物の理解を深めたり、展示から発展的な科学技術を学んだりすることができる実験教室を行います。
		成人楽集 年 3 回程度	成人を対象とした科学実験教室、工作教室等を行い、幅広い世代が遊学館を利用できる機会を創出します。
		親子教室 年 10 回程度	家庭でも行うことができる実験や工作、幼児と母親のための親子体操や遊び、乳幼児と保護者のための歌遊びやおもちゃや遊びなどを実施します。
		読み聞かせ 月 6 回程度	絵本や紙芝居の読み聞かせ会を定期的に行います。また、平日には乳幼児をもつ親子対象に絵本に触れる機会を提供します。
		室内大型砂場遊び 年 5 回程度	砂場での遊びを豊かにするため、遊具を設置します。また、定期的に特別なおもちゃの提供やおもちゃ作りの場を設定します。

	鑑賞会	年5回程度	こども向けの人形劇やコンサートなど、家族でも楽しめる公演を提供します。
	天文教室	年1回程度	天体写真やプラネタリウムなど天文に関するテーマでシリーズもしくは単発のプログラムを行ないます。
	プラネタリウム特別投影	年4回程度	プラネタリウムコンサートやゲスト解説者によるプラネタリウム投影など、毎回、通常投影とは異なった魅力ある内容で行ないます。
	プラネタリウム番組制作	年3回程度	プラネタリウム通常投影におけるオリジナル番組、実験学習や学校団体で利用する理科学習の内容を含んだ学習番組などを市民協働で制作します。
	講演会	年1回程度	館外の専門家を招き、市民の関心のある多彩なテーマで講演会を行います。
	企画展示	随時	天文情報や科学情報、ボランティア活動の紹介、こどもたちの絵画や工作作品などを展示します。

事業区分		各事業区分の考え方	
4	移動天文車活用事業	市民が宇宙や天文学と慣れ親しむ機会を広く提供していくために、移動天文車「カシオペヤ号」を活用して、天文分野等の本物体験・科学知識の普及を行なう事業活動。 市民を対象とした天体観望会などの宇宙や天文をテーマとしたイベントを企画実施します。	
	実施予定事業	太陽観測会	年6回程度 定期的に昼間の天体観測会として太陽の観測会を行ないます。市民が自由に参加できるようにします。
		天体観測会	年6回程度 定期的に夜間の天体観測会「星空キャラバン」を行ないます。市民が自由に参加できるようにします。
		出張天体観望会	年10回程度 学校やこども会、町内会など団体の要請に基づき、出張して天体観測会「星空☆宅配便」を行ないます。
		天体観測学習	随時 釧路市内の小中学校からの要請により、授業の一環として移動天文車を活用した天体観測を実施します。

事業区分		各事業区分の考え方	
5	春・夏・冬休み事業	こどもたちの長期休暇に合わせて、充実した内容のメニューを盛り込んだイベントを開催する事業活動。 こどもたちの多彩な期待に応える楽しいプログラムを企画実施するとともに、自由研究の支援となる教室や時間をかけて取り組める活動を展開します。また、家族で楽しめる長期休暇ならではの内容を実施します。	
	実施予定事業	春休み企画	春休み期間 入園や入学など、新たな1年を迎える春を考慮した各種教室、学びと遊びのイベントを実施します。
		夏休み企画	夏休み期間 夏休みという長期休暇を利用して来館される家族などを主な対象とし、こどもから大人まで一緒に楽しめるイベントを企画・実施します。自由研究・工作の支援も含めた工作会や各種教室を実施します。
		冬休み企画	冬休み期間 冬休みという長期休暇を利用して来館される家族などを主な対象とし、幅広い世代で楽しめる工作や遊びを展開します。

事業区分		各事業区分の考え方	
6	季節事業	季節の特色を活かし、こどもたちが自然と文化に触れ親しみ体験できる、特定期間の事業活動。 自然や伝統を意識する機会が少なくなっている現代のこどもたちに、自然のすばらしさを伝え、日本に古くから伝わる行事を体験できるように、季節に応じたイベントを実施します。	
	実施予定事業	自然工作工房	年1回程度 自然素材を用いた工作教室を行います。
		自然観察会	年1回程度 釧路近郊の公園などで自然観察会を行います。
		七夕祭り	年1回 七夕の日に近い時期（7月）に、七夕にちなんだワークショップを実施します。
		ひな祭り	年1回 ひな祭りの時期（3月）に、ひな祭りにちなんだワークショップを実施します。

事業区分		各事業区分の考え方		
7	ファンクラブ事業	より本格的な学習ニーズに応じていくとともに、関わりの深い利用者層の育成を目的として、ファンクラブを設置し、継続的な活動を通して、段階を追ったプログラムを提供し、利用者との繋がりを深めていく事業活動。 継続的に活動する中で利用者との信頼関係を築き、遊学館への思いを深めてもらうことで、長期にわたっての繋がりを築きます。		
実施予定事業	ファンクラブ教室	年6回程度	ファンクラブ会員を対象に、親子、小学校低学年、小学校中学年以上など対象を明確にし、それらの年代に合わせた科学実験教室、工作教室などを行います。	
	ファンクラブ運営	随時	ファンクラブを組織し、運営・維持します。	

事業区分		各事業区分の考え方		
8	市民協働事業	市民が主役となって事業展開していくために必要な市民ネットワークを構築し、活動の場の提供および活動の支援を積極的に行い、広く開かれた市民協働を展開する事業。 地域文化の活性化と発展、および遊学館で提供するサービスの質の向上を目的とした、市民および他団体、施設、企業等との連携を行います。また、様々な研修を実施し、多様な一人一人が生き生きと活躍できる機会を提供し、多世代交流を推進し地域文化の活性化と継承を支援します。		
実施予定事業	ボランティア募集説明会	毎月	ボランティア活動に関するオリエンテーションを行います。また、遊学館でのボランティア活動を始めるにあたり必要な活動方法やルール、安全管理や接遇マナーも含めたボランティア実務を研修し、誰でも容易に活動へ参加できるよう支援します。	
	ボランティア交流	毎月	遊学館で活動するボランティアおよびスタッフが交流を深められるよう、交流会の開催や通信紙の発行を行います。	
	ボランティア活動支援	随時	円滑にボランティア活動が行えるように、ボランティア活動保険への加入などの環境整備を行います。	
	ボランティア研修	随時	来館者の安全を守る安全管理法、救命救急法、災害時の対応や、より良いサービスを提供するための接遇マナー、館内案内など、ボランティア活動に必要な一般的基礎知識を学びます。また、活動への積極的な参加を促し、活動を楽しめるよう、個々のニーズに応じて、様々な知識や技術を学ぶ研修会を行います。	
	地域組織連携	随時	遊学館の事業をより多彩にするため、地域の団体、サークル、企業、市民組織などと連携します。	
	宇宙少年団活動	随時	宇宙少年団活動を、地域と連携して実施します。	
	天文指導員養成講座	年8回	地域での天文普及活動のリーダーとなる人材を育成する教室を開催します。	
	広場活用	随時	遊学館のさんさん広場や前庭の自由で開放的な空間を活用し、釧路シビックコア地区およびその周辺地区の活性化に寄与します。	

事業区分		各事業区分の考え方		
9	連携支援事業	地域のこども関連施設、学校、高等教育機関、社会教育施設等と連携してこどもたちを育成し、また、こどもたちの指導を担うリーダーの活動を支援する事業活動。 地域の教育機関との連携支援体制を強化し、遊学館の設備やノウハウを存分に活用した各種研修会や実習などを実施します。		
実施予定事業	サイエンスルーム	(市内全小学6年生)	釧路市内の全小学校6年生を対象に、物理・化学・生物実験を行います。また、天文学習としてプラネタリウム学習番組を投影します。	
	校外学習支援	随時	釧路市内の小中高等学校の総合学習や社会見学などの学習行事について、施設案内、質問対応などを行い、効果的な学習が行えるように支援します。	
	こども関連施設・教育機関支援	随時	幼稚園・保育園や学校、児童館などの指導者に対する研修を開催し、活動の支援を行います。	
	教育機関活動支援	随時	高等専門学校や大学などからの依頼により、インターンシップ生や博物館学芸員実習生などの受け入れを行います。	
	地域施設間連携	随時	社会教育施設や生涯学習施設など地域の諸施設と連携した事業を展開します。	

事業区分		各事業区分の考え方		
10	調査研究活動・スキルアップ活動事業	遊学館の事業活動を豊かにし、利用者へ提供するサービスの質を向上させるための調査研究や研修活動。 こどもたちに提供する遊びや学びをより豊かなものとするために、研究機関や関連組織と連携することで、先進的なプログラム開発等を行います。また、宇宙航空研究開発機構（JAXA）や国立天文台などへ職員を派遣し技術や知識の向上を図ります。		
実施予定事業	児童図書・科学図書等整備	随時	学習・天文・育成・ボランティアの各分野において専門性を高めるために必要な各種専門誌の購入、書籍の整備を行ないます。	
	調査研究活動	随時	より良いサービスを提供するために、関連分野の動向や最新情報を調査・研究します。その成果を利用者へのサービスに反映し、さらに専門誌等へ公開します。	
	教材開発	随時	展示物の新規開発や、展示物を活用した教材の開発を行います。継続して魅力ある各種教室、講座等を開催するため、新しい教材教具等も開発します。	
	職員研修	随時	利用者に対して質の高いサービスを提供し、職員自身の資質を高めるために、専門講師を招いた研修会等を内部で実施し、人材育成を効果的にを行います。	
	派遣研修	随時	JAXA や関連学会等、外部に職員を派遣して知識と技術を向上させ、提供するサービスの質を高めます。	
	安全管理研修	年2回	救命救急法や災害時の対応などを学び、安全で快適な遊学館利用を徹底します。	

事業区分		各事業区分の考え方		
11	利用推進事業	利用者の実態を重視したよりよい遊学館を目指すための調査および広報活動。 利用者とのコミュニケーションを図りながら、利用者の動向やニーズの把握に努めるとともに、多彩なメディアを活用した広報を行ないます。また、修学旅行や生涯学習などの学習ニーズにも積極的に応じ、団体の誘客も推進します。		
実施予定事業	団体利用推進	随時	市外からの修学旅行や遠足、市内の幼稚園・保育園や児童館、一般団体などを対象とした体験メニューを整備し、提供します。	
	マーケティング活動	随時	利用者および市民の動向をアンケート等で調査し、ニーズを把握します。その結果を、館運営・事業活動に反映し、利用者の満足度をさらに上昇させ、また新規利用者を開拓します。	
	広報	随時	最新情報や活動成果をポスターやチラシ、SNS 等に掲載し、市民に発信します。また、報道機関などへの情報提供・発信も積極的に実施します。	
	移動遊学館	随時	遊学館の PR のために、市内各所等に必要に応じて出向き、工作や実験、遊びを提供します。	
	ミュージアムショップ活動	毎日	「持ち帰ることのできる遊学館」をコンセプトに、来館者へ教育グッズをはじめとした販売活動を行います。	
	おもちゃの病院	毎週	釧路ボランティアサークル「おもちゃのお医者さん」との協働でおもちゃの修理活動を行います。	

## 2. 自主事業

### （1）遊学館各事業とのタイアップ事業

天文学宇宙検定（7/4 開催 市民ステージ後援）サイエンス屋台村、ジオ・フェスティバル、などの特別事業や企画事業への参画やタイアップの企画、実施

### （2）出前遊学館

市内および近隣市町村での「出張天体観測会」「サイエンスショー」「簡単工作」「施設体験展示」などの出前事業の企画・実施

### （3）支援事業

青少年の健全育成に係わる団体やボランティアへの支援および連携、協働事業の実施

### （4）会員、ボランティアや市民向けの研修・交流事業

ワークショップ・セミナー、見学会などスキルアップの場を企画、実施

3. ミュージアムショップの運営
4. 組織体制の強化
  - (1) 会員の募集および活動の活性化
  - (2) これからの遊学館と市民ステージの姿を、会員と共にデザインする作業
  - (3) 会員の事業参画推進のため、年間パスポートの配布
5. 広報活動の充実
  - (1) ホームページの充実
  - (2) 会員への情報発信、コミュニケーションの強化
6. 次期指定管理準備事業（10月～）
  - (1) 遊学館管理運営部門の引継ぎ業務
7. その他
  - (1) 厚労省のキャリアアップ助成金制度等を活用し、雇用形態の改善を図る
  - (2) ICT（情報通信技術）を活用し、業務の効率化・改善を推進